

福島県 平成27年度 当初予算

1

《モニター画像 1》

平成27年度当初予算につきまして、発表いたします。



予算規模

1兆8,994億円

うち 震災・原子力災害対応分
1兆287億円

2

《モニター画像 2》

一般会計当初予算の総額は、過去最大となる1兆8,994億円であります。
これは、前年度と比較して1,849億円、率にして10.8%の増となります。
このうち、震災・原子力災害対応分として1兆287億円を計上いたしました。

平成27年度当初予算



【歳入】 1兆8,994億円		【歳出】 1兆8,994億円	
I 県 税	2,160億円	I 義務的経費	4,548億円
II 地方交付税	3,176億円 (うち実質的な地方交付税2,183億円)	II 投資的経費	4,585億円
III 国庫支出金	5,052億円	III 一般行政経費	9,861億円
IV 繰入金	4,744億円		
V 県 債	1,241億円 (臨財債除く)	※ 扶助費(再掲)	1,292億円
VI その他	2,621億円		
		医療・介護給付費 のほか 災害救助費 など	

「原子力災害等復興基金」等各種基金の活用

3

《モニター画像 3》

まず、歳入についてであります。県税収入は、2,160億円と、前年度を上回りますが、地方財政対策により、震災復興特別交付税を除く実質的な地方交付税は、2,183億円と、前年度を下回り、一般財源総額の確保は、依然、厳しい状況となっております。

このため、「原子力災害等復興基金」を始めとした各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました。

歳出につきましては、これまで執行した事業の効果をしっかりと検証しながら、内部管理経費の節減、事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました。



基本目標

「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」

総合計画 13の重点プロジェクト

人口減少や高齢化社会への対応、被災者の生活再建、風評対策、医療・再エネ拠点整備やロボット開発支援等による産業創出・集積、農林水産業の再生支援、保健医療・福祉体制の充実、観光業・中小企業再生による県内経済の活性化、ふるさと帰還の環境づくりの視点などを重視。

平成27年度当初予算



復興・再生に向けた新たなステージへの一歩

4

《モニター画像 4》

さて、今年度は、復興の一層の加速化に取り組み、環境創造センターを始めとする拠点施設の整備の進展、プレ・デスティネーションキャンペーンや各種イベントの開催など、復興が目に見える形で進み、明るい話題も増えてまいりました。

一方で、12万人もの多くの方々が県内外で避難を続けており、一日も早い生活再建に向けて取組を更に加速させる必要があります。

これらを踏まえ、平成27年度当初予算につきましては、「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向けて、新たなステージへの一歩を踏み出すための重要な予算として編成いたしました。

それでは、総合計画に定めた重点プロジェクトの区分に従って、新年度予算の内容を御説明いたします。

人口減少・高齢化対策プロジェクト

地域の産業振興等による活性化

プロジェクト内容

- 1 住みやすい・働きやすい県づくり
- 2 出産、子育てしやすい県づくり
- 3 高齢者が暮らしやすい県づくり
- 4 若者、女性が活躍する県づくり



取組内容

- ・ 出会い、結婚から子育てまで切れ目のない総合的な支援
- ・ 女性が活躍できる、働きやすい職場環境づくりの推進
- ・ 将来の地域リーダーとなる若者のまちづくり参画促進
- ・ 「ロボット産業革命の地」の実現に向けた取組 など

5

《モニター画像 5》

始めに、人口減少・高齢化対策プロジェクトについてであります。

出会い、結婚から子育てまで切れ目のない総合的な支援を行うため、「(仮称)ふくしま結婚・子育て応援センター」を設置いたします。

また、「働く女性応援企業認証制度」を創設して企業の取組や離職した女性の再就職を一体的に支援し、女性が活躍できる、働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。

将来の地域のリーダーとなる若者による「まちづくり」ワークショップ等を開催し、若者自身の社会参画を促進してまいります。

さらに、「ロボット産業革命の地」の実現に向けて、関係部局連携の下、総合的な施策を推進してまいります。

これらの取組を通じて、本県の人口減少に歯止めをかけ、子どもから高齢者まで、いきいきと暮らせる社会づくりを進めてまいります。

環境回復プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 除染の推進
- 2 食品の安全確保
- 3 廃棄物等の処理
- 4 拠点の整備

福島県環境創造センターの一部開所



取組内容

- ・ 市町村と一体となった除染の更なる加速化
- ・ 環境創造センターの整備の推進 など

6

《モニター画像 6》

次に、環境回復プロジェクトについてであります。

除染につきましては、市町村と一体となって、更なる加速化を図ってまいります。

また、「環境創造センター」につきましては、平成27年度の一部開所、平成28年度の全体開所に向けて、着実に整備を進めるとともに、幅広い知見を有する外部の人材を所長に招へいし、調査研究体制の強化を図ってまいります。

生活再建支援プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 県内避難者支援
- 2 県外避難者支援
- 3 帰還に向けた取組及び帰還後の生活再建支援
- 4 長期避難者等の生活拠点の整備
- 5 当面ふるさとへ戻らない人への支援
- 6 避難者を支える仕組み等

復興公営住宅の整備



取組内容

- ・ 復興公営住宅の整備及び入居者の方々へのきめ細かな支援
- ・ 県内外の団体と連携した避難者支援 など

7

《モニター画像 7》

次に、生活再建支援プロジェクトについてであります。

復興公営住宅の整備につきましては、仮設住宅の入居者に対する支援や工期短縮を図りながら、全力で取り組むとともに、入居された方々が地域で安心して生活を送れるようきめ細かな支援を行ってまいります。

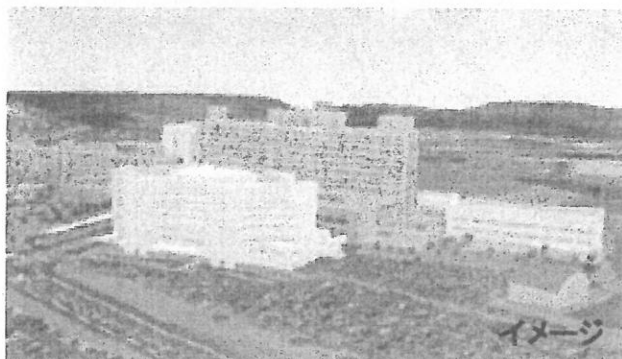
また、今なお避難生活を送っている方々が一日も早く帰還や生活再建が実現できるよう、県内外の団体と連携した支援などに取り組んでまいります。

県民の心身の健康を守るプロジェクト

プロジェクト内容

- 1 県民の健康の保持・増進
- 2 地域医療等の再構築
- 3 最先端医療提供体制の整備
- 4 被災者等の心のケア

ふくしま国際医療科学センター



取組内容

- ・ ふくしま国際医療科学センターの整備
- ・ 周産期医療機関の支援、人材の養成及び県内定着の促進
- ・ 県民健康調査の実施
- ・ 双葉郡の医療提供体制再生への支援
- ・ (仮称)県立大野病院附属ふたば復興診療所の整備 など

8

《モニター画像 8》

次に、県民の心身の健康を守るプロジェクトについてであります。

「ふくしま国際医療科学センター」につきましては、平成27年度後半の一部開所、平成28年度の全体開所を目指し、着実に整備を進めてまいります。

また、県立医科大学内に「(仮称)福島県周産期医療人材養成支援センター」を設置し、県内の周産期医療機関の支援、人材の養成や県内定着に取り組んでまいります。

県民健康調査につきましては、甲状腺検査や被災者・妊産婦に対する心のケアなどにもきめ細かく対応してまいります。

双葉郡の医療提供体制の再生を図るため、郡立診療所の開設等を支援してまいります。

さらに、「(仮称)県立大野病院附属ふたば復興診療所」につきましては、平成27年度中の開所を目指します。

未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり
- 2 生き抜く力を育む人づくり
- 3 ふくしまの将来の産業を担う人づくり



取組内容

- ・ 18歳以下の子どもの医療費無料化
- ・ ふくしまっ子自然体験・交流活動、社会体験活動への支援
- ・ ふたば未来学園高等学校の開校
- ・ 高校生による地域課題の探究活動 など

9

《モニター画像 9》

次に、未来を担う子ども・若者育成プロジェクトについてであります。

18歳以下の子どもの医療費無料化を継続するほか、ふくしまっ子の自然体験・交流活動や社会体験活動を支援してまいります。

また、ふたば未来学園高等学校において、国際的素養の育成に取り組むほか、県立高校1校において、地域課題に対してグローバルな視点で探究活動に取り組むなどグローバルリーダーの育成を進めてまいります。

農林水産業再生プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 安全・安心を提供する取組
- 2 農業の再生
- 3 森林林業の再生
- 4 水産業の再生
- 5 区域見直しに伴う対応

トップセールス・プロモーション



取組内容

- ・ 原子力災害の被災地域における農業の復興
- ・ 農業短期大学の教育・研修機能の強化による担い手育成
- ・ 地方ごとの特色を活かした水田農業の振興
- ・ 米の全量全袋検査をはじめとする安全・安心の確保
- ・ 国内外への県産農林水産物の魅力発信の強化
- ・ 水産種苗研究・生産施設の整備による水産業の再生 など

10

《モニター画像 10》

次に、農林水産業再生プロジェクトについてであります。

原子力災害の被災地域における農業の復興を図るため、大熊町が行う植物工場施設の整備を積極的に支援してまいります。

また、農業短期大学の教育・研修機能の強化により、実効性のある担い手の育成に取り組んでまいります。

さらに、主食用米の品質向上や飼料用米などの作付拡大、収益性の高い園芸作物への転換を支援し、地方ごとの特色を活かした水田農業の振興を図ってまいります。

このほか、米の全量全袋検査を継続するほか、県産農林水産物の安全性や魅力を発信し、風評払拭を図ってまいります。

水産種苗研究・生産施設につきましては、平成29年度の供用開始を目指して整備を進めてまいります。

中小企業等復興プロジェクト

避難解除等区域の商業機能の確保

プロジェクト内容

- 1 県内中小企業等の振興
- 2 企業誘致の促進
- 3 新たな時代をリードする
新産業の創出
- 4 区域見直しに伴う対応



取組内容

- ・ ロボット産業集積に向けた県内中小企業等への支援
- ・ 本県への企業立地促進に向けた取組
- ・ 中小企業等の施設復旧・復興への支援
- ・ 中小企業の資金繰りへの支援 など

11

《モニター画像 11》

次に、中小企業等復興プロジェクトであります。

「ロボット産業革命の地」を目指し、被災12市町村等の企業に対する災害対応ロボット開発のための支援を始め、県内中小企業に対する技術力向上のための支援などにより、ロボット産業の集積を進めてまいります。

また、企業立地補助金による支援、被災中小企業や中小企業グループの施設等の復旧・復興に対する支援、中小企業の資金繰りへの支援などを引き続き実施してまいります。

再生可能エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 再生可能エネルギーの導入拡大
- 2 研究開発拠点の整備
- 3 再生可能エネルギー関連産業の誘致、県内企業の参入・取引支援
- 4 再生可能エネルギーの地産地消の推進

産総研 福島再生可能エネルギー研究所



提供：産総研

取組内容

- ・ 再生可能エネルギーの更なる普及拡大に向けた取組
- ・ 電力系統接続に係る対策を進めながら避難解除区域等における発電事業導入を促進
- ・ 福島再生可能エネルギー研究所との連携 など

12

《モニター画像 12》

次に、再生可能エネルギー推進プロジェクトについてであります。

住宅用の太陽光発電設備設置への助成に加え、風力発電やバイオマス発電の事業化を促進するなど、再生可能エネルギーの普及拡大を、更に進めてまいります。

また、国と連携して電力系統接続に係る対策を進めながら、避難解除区域等における発電事業の導入を促進してまいります。

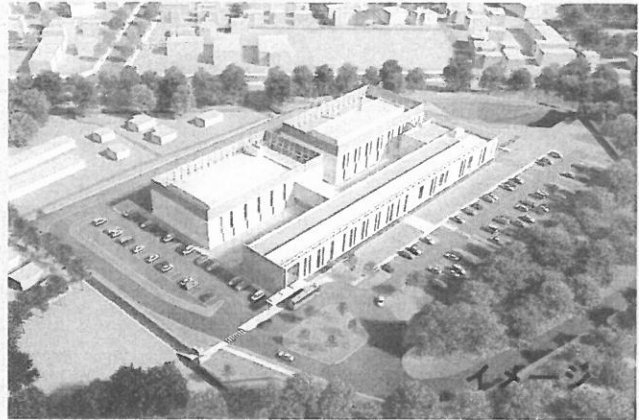
さらに、「福島再生可能エネルギー研究所」との連携、次世代技術に関する研究開発、県内企業等への技術支援や人材育成などにより、関連産業の集積を推進してまいります。

医療関連産業集積プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 医療福祉機器産業の集積
- 2 創薬拠点の整備

医療機器開発・安全性評価
センター（仮称）



取組内容

- ・ 医療福祉機器の実証・事業化に向けた支援等による医療関連産業の県内集積に向けた取組
- ・ 医療機器開発・安全性評価拠点の整備 など

13

《モニター画像 13》

次に、医療関連産業集積プロジェクトについてであります。

医療福祉機器の実証・事業化に対する支援など、引き続き、医療関連産業の集積を推進するとともに、「（仮称）福島県医療機器開発・安全性評価センター」につきましては、平成28年度の開所に向けて着実に整備を進めてまいります。

ふくしま・きずなづくりプロジェクト

プロジェクト内容

- 1 福島県内におけるきずなづくり
- 2 県外避難者やふくしまを応援している人とのきずなづくり
- 3 ふくしまにおける復興へ向けた取組や情報の発信
- 4 ふるさとへ戻らない人とのきずなの維持

ご当地キャラ

こども夢フェスタ



取組内容

- ・ 積極果敢にチャレンジし続ける本県の姿を国内外に発信
- ・ 若い世代による舞台芸術創作、県内公演を通じて新しいふくしまの姿を発信
- ・ ご当地キャラこども夢フェスタ、ふるさとの祭り2015 など

14

《モニター画像 14》

次に、ふくしま・きずなづくりプロジェクトについてであります。

「ふくしまから“チャレンジ”はじめよう！」の下、積極果敢にチャレンジし続ける本県の姿を国内外に発信してまいります。

また、県内の中学生、高校生が、劇作家、音楽家等の支援を得ながら舞台芸術を創作し、県内で公演を行うことにより、新しいふくしまの姿を発信してまいります。

このほか、ご当地キャラこども夢フェスタやふるさとの祭り2015を引き続き開催いたします。

ふくしまの観光交流プロジェクト

プロジェクト内容

1 観光復興キャンペーンの実施

2 観光と多様な交流の推進



取組内容

- ・ 切れ目のない観光プロモーションの展開
- ・ 本県への教育旅行の回復に向けた取組
- ・ 太平洋・島サミットを契機とした交流拡大
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた積極的な誘致活動 など

15

《モニター画像 15》

次に、ふくしまの観光交流プロジェクトについてであります。

本年4月に、デスティネーションキャンペーンが始まりますが、市町村と連携し、切れ目のない観光プロモーションを展開してまいります。

本県への教育旅行の回復に向けた取組もしっかりと進めてまいります。

また、5月に本県で開催される第7回太平洋・島サミットにおいて、復興に取り組む本県の姿を世界に発信し、交流拡大を図ってまいります。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、積極的な誘致活動を展開してまいります。

津波被災地等復興まちづくりプロジェクト

プロジェクト内容

- 1 「多重防御」による総合的な防災力が向上したまちづくり
- 2 地域防災計画等の見直し、防災意識の高い人づくり・地域づくり
- 3 地域とともに取り組む土地利用の再編や復興のまちづくり計画策定及び実施

「多重防御」によるまちづくり



海岸堤防嵩上げ



防災緑地造成工事

取組内容

- ・ 海岸堤防嵩上げ、防災緑地などのハード整備
- ・ 防災リーダー育成などのソフト面の充実
- ・ 大規模建築物等に対する耐震改修の促進 など

16

《モニター画像 16》

次に、津波被災地等復興まちづくりプロジェクトについてであります。

海岸堤防の嵩上げや防災緑地などのハード面の整備とともに、防災リーダーの育成などのソフト面の充実を推進してまいります。

また、大規模な建築物等を対象とする耐震改修支援制度を創設いたします。

県土連携軸・交流ネットワーク 基盤強化プロジェクト

プロジェクト内容

- 1 「浜通り軸」の早期復旧・整備と、生活を支援する道路の整備
- 2 災害に強く信頼性の高い本県の復興を推進する道路ネットワークの構築
- 3 本県の物流、観光の復興を支える基盤の整備
- 4 JR常磐線・只見線の早期復旧
- 5 災害時における広域的な連携・連絡体制の構築

常磐自動車道全線開通



取組内容

- ・ 本県の復興を推進する道路等の整備
- ・ 豪雨災害からの本格的な復興に向けたインフラ強化
- ・ JR常磐線・只見線の早期全線復旧に向けた取組 など

17

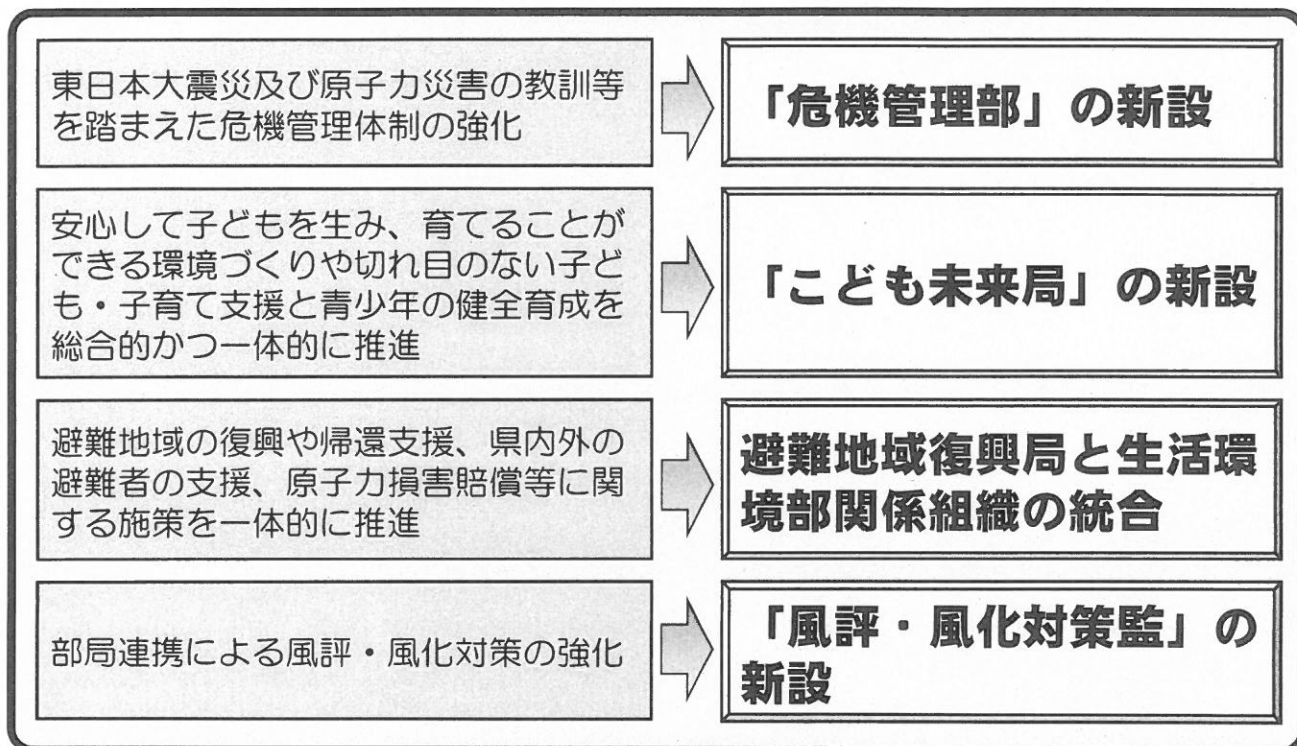
《モニター画像 17》

次に、県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクトについてであります。

「浜通り軸」を始め、復興を進める上で重要となる道路等の整備、物流等の基盤整備を着実に進めてまいります。

また、豪雨災害からの本格的な復興に向けたインフラの強化にも、引き続き努めてまいります。併せて、JR常磐線・只見線の早期全線復旧に向けた取組も継続して進めてまいります。

平成27年度の主な組織改編

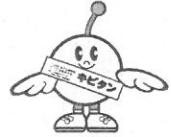


18

《モニター画像 18》

以上が、平成27年度当初予算の概要であります。過去最大となる予算を着実かつ効果的に執行するため、来年度の組織体制につきましては、複合災害の経験を踏まえた危機管理体制強化のため「危機管理部」を、また、本県の未来を担う子どもや青少年の育成を一体的に進めるため「こども未来局」を新設するほか、避難地域の復興支援や避難者支援等に係る施策をより一体的に進めるため避難地域復興局と生活環境部における関係組織の統合、さらには、部局連携による風評・風化対策を強化するため「風評・風化対策監」の新設など、県政の重要課題に対応した組織改編を行ってまいります。

平成27年度当初予算



観光復興キャンペーン
福が満開、福のしま。

会津大学 復興支援センター

ふくしま国際医療科学センター

浜地域農業再生研究センター

JR只見線復興推進

ふくしまっ子自然体験・交流活動

医療機器開発・安全性評価センター（仮称）

環境創造センター

ふたば未来学園高等学校

ご当地キャラ ども夢フェスタ

復興公営住宅

全県的な取組

- ◇ チャレンジふくしま戦略的情報発信
- ◇ 18歳以下の医療費無料化
- ◇ 除染対策・米の全量全袋検査
- ◇ 再生可能エネルギーの導入拡大 等

真の復興に向けて「チャレンジ」

《モニター画像 19》

平成27年度は、国の集中復興期間の最終年となります。

本県といたしましては、東日本大震災・原子力災害からの真の復興に向けて、様々な課題に果敢に挑戦する「チャレンジ」の年と位置付け、復興の取組を進める進化、深める深化、新しくする新化、この3つの意味で「シンカ」させながら、総力を挙げて取り組んでまいります。